

病気の予防(小学校6年・保健)

()小学校()年()組
氏名()

【ジュネーブ共同】小林義久【国連児童基金(ユニセフ)は1日、2018年のはしかの感染数が世界98カ国で17年より増加し、今年に入ってもウクライナ、フィリピンで急増するなど世界規模で流行していると発表した。重症化すると死に至ることもあるため、特に子どもの感染防止が重要だとして予防接種の徹底を訴えた。

アジアでも感染は拡大傾向にあり、フィリピンでは今年に入り1万2千人以上が感染、早くも昨年1年間の約1万6千人に迫る勢いだ。死者も200人以上出ている。日本は2015年に、WHOから土着のウイルスによる感染がない排除状態と認定された。しかし海外で感染した人が持ち込む「輸入症例」がきっかけとみられる集団感染が毎年のように発生。

はしか 世界規模の流行

ユニセフ 98カ国 患者増

患者数が大幅に増えた国

- ① ウクライナ
- ② フィリピン
- ③ ブラジル
- ④ イエメン
- ⑤ ベネズエラ
- ⑥ セルビア
- ⑦ マダガスカル
- ⑧ スーダン
- ⑨ タイ
- ⑩ フランス

※国連児童基金(ユニセフ)による

19年も大阪府や三重県などで計220人以上の感染が確認されており、過去10年で最多ペースだ。国立感染症研究所は流行国に渡航予定のある人

にワクチン接種歴を確認するなど予防を心掛けるよう呼び掛けている。ユニセフによると、17年と比べ18年の患者数が大幅に増えたのはウクラ

比で1万2000人超感染、死者200人超

イナ、フィリピン、ブラジル、タイ、フランスなど10カ国。特にウクライナでは3万人以上増え、今年1～2月の2カ月で新たに約2万4千人が感染した。

世界保健機関(WHO)の統計では17年の世界の感染者数は約17万3千人。18年は集計中だが、各地で流行したため倍増する見通し。感染が報告されない例も多いため、感染者の実数は200万人以上と推定している。

【問1】2018年のはしかの感染数が2017年より増えたのは世界何カ国だったのでしょうか。

【問2】2019年に入ってもはしかが急増したのはどこどこの国でしょう。

()
()

【問3】特に子どもの感染防止が重要だとしているのはなぜでしょう。

【問4】「輸入症例」とは何でしょう。

【調べてみよう】世界の感染症について調べてみよう。

むずかしい漢字とことば

はしか=子どもに多い
急性の感染症(かん・せん・しょう)=ウイルスや細菌などの感染によって起こる病気=熱が出て、全身に赤色のぶつぶつができる。一度かかれば免疫(めん・えき)=ウイルスなどが体に入っても、病気にかかりにくい状態になっていること=ができて2度とかからない
重症(じゅう・しょう)=病気の程度がひどく重いこと
徹底(てっ・てい) 訴(うた)え 傾向(けい・こう)
迫(せま)る 排除(はい・じょ) 持(も)ち込(こ)む
症例(しょう・れい)=病気やけがなどの症状の例
渡航(と・こう)=船や飛行機で外国へ行くこと
心掛(こころ・が)ける 患者(かん・じゃ) 大幅(おお・はば)



【ジュネーブ共同】小林義久【国連児童基金(ユニセフ)は1日、2018年のはしかの感染数が世界98カ国で17年より増加し、今年に入ってもウクライナ、フィリピンで急増するなど世界規模で流行していると発表した。重症化すると死に至ることもあるため、特に子どもの感染防止が重要だとして予防接種の徹底を訴えた。

アジアでも感染は拡大傾向にあり、フィリピンでは今年に入り1万2千人以上が感染、早くも昨年1年間の約1万6千人に迫る勢いだ。死者も200人以上出ている。日本は2015年に、WHOから土着のウイルスによる感染がない排除状態と認定された。しかし海外で感染した人が持ち込む「輸入症例」がきっかけとみられる集団感染が毎年のように発生。

はしか 世界規模の流行

ユニセフ 98カ国 患者増

- 患者数が大幅に増えた国
- ① ウクライナ
 - ② フィリピン
 - ③ ブラジル
 - ④ イエメン
 - ⑤ ベネズエラ
 - ⑥ セルビア
 - ⑦ マダガスカル
 - ⑧ スーダン
 - ⑨ タイ
 - ⑩ フランス
- ※国連児童基金(ユニセフ)による

19年も大阪府や三重県などで計220人以上の感染が確認されており、過去10年で最多ペースだ。国立感染症研究所は流行国に渡航予定のある人

にワクチン接種歴を確認するなど予防を心掛けるよう呼び掛けている。ユニセフによると、17年と比べ18年の患者数が大幅に増えたのはウクラ

比で1万2000人超感染、死者200人超

イナ、フィリピン、ブラジル、タイ、フランスなど10カ国。特にウクライナでは3万人以上増え、今年1～2月の2カ月で新たに約2万4千人が感染した。

世界保健機関(WHO)の統計では17年の世界の感染者数は約17万3千人。18年は集計中だが、各地で流行したため倍増する見通し。感染が報告されない例も多いため、感染者の実数は200万人以上と推定している。

【問1】2018年のはしかの感染数が2017年より増えたのは世界何カ国だったのでしょうか。

98カ国

【問2】2019年に入ってもはしかが急増したのはどこどこの国でしょう。

- (ウクライナ)
- (フィリピン)

【問3】特に子どもの感染防止が重要だとしているのはなぜでしょう。

重症化すると死に至ることもあるため

【問4】「輸入症例」とは何でしょう。

海外で感染した人がウイルスを持ち込むこと

【調べてみよう】世界の感染症について調べてみよう。

むずかしい漢字とことば

はしか=子どもに多い
急性の感染症(かん・せん・しょう)=ウイルスや細菌などの感染によって起こる病気=熱が出て、全身に赤色のぶつぶつができる。一度かかれば免疫(めん・えき)=ウイルスなどが体に入っても、病気にかかりにくい状態になっていること=ができて2度とかからない
重症(じゅう・しょう)=病気の程度がひどく重いこと
徹底(てっ・てい) 訴(うた)え 傾向(けい・こう)
迫(せま)る 排除(はい・じょ) 持(も)ち込(こ)む
症例(しょう・れい)=病気やけがなどの症状の例
渡航(と・こう)=船や飛行機で外国へ行くこと
心掛(こころ・が)ける 患者(かん・じゃ) 大幅(おお・はば)

